

歴史

関西電力の歩み

関西電力の出来事	年	社会情勢
電気事業再編に伴い、関西電力発足	1951	講和条約調印
原子力研究開発のため、「原子力部」発足	1957	
世界初の気球工法による鳴門海峡横断送電線工事成功	1961	
7年に亘る難工事の末、黒四発電所竣工	1963	
夏季最大電力が初めて冬季最大電力を上回る	1966	
当社初の原子力発電所である美浜発電所 1号機運転開始	1970	大阪で万国博覧会が開催
	1973	第一次石油ショック
50万ボルト基幹系統完成	1976	
姫路 LNG基地竣工	1979	第二次石油ショック スリーマイル島原子力発電所で事故発生
電力業界で初めて TQCを導入	1981	
製造業・建築業以外で初めてデミング賞を受賞	1984	
	1986	チェルノブイリ原子力発電所で事故発生
年度の販売電力量が 1,000 億 kWh を超える	1987	
	1990	大阪で国際花と緑の博覧会が開催
美浜 2号機蒸気発生器細管破断事故発生	1991	湾岸戦争勃発
美浜 2号機事故を教訓として原子力安全システム研究所を設立	1992	ブラジルで地球サミット開催
31年ぶりに電気事業法が改正され、卸電気事業などの規制が緩和	1995	阪神・淡路大震災発生
電気料金の値下げ。初めて電気卸入札を実施	1996	
	1997	京都で COP3 開催
電気料金の値下げ	1998	
電気事業法が改正され、電力の小売部分自由化がスタート。 届出による初めての電気料金の値下げ	2000	
5年ぶりに最大電力更新 (3,306 万 kW)	2001	米国同時多発テロ
電気料金の値下げ	2002	米アフガニスタン攻撃 東電、自主点検不正問題
当社電力が「エコリーフ環境ラベル」認証取得	2003	米イラク攻撃
美浜 3号機 2次系配管破損事故発生	2004	
電気料金の値下げ	2005	愛知で日本国際博覧会が開催